

つぎのミライは、
あなたの街から
はじまる。

News Release

NTT東日本グループ

2024年3月1日
東日本電信電話株式会社 群馬支店

群馬県内のビルに、温室効果ガス排出量ゼロの電力を導入 ～「地産地消型 PPA(群馬モデル)」の電力供給先事業者に決定～

東日本電信電話株式会社 群馬支店(支店長:井原 智直、以下「NTT 東日本 群馬支店」)は、群馬県が創設した「地産地消型 PPA(群馬モデル)」※1 の電力供給先事業者に選定されました。これにより、群馬県内のデータセンターなど高圧電力を使用する全てのビルの電力※2 が、2024年4月から3年間にわたり、温室効果ガス排出量ゼロとなります※3。

1. 本取り組みの背景と目的

NTT 東日本 群馬支店は、2040年のカーボンニュートラルをめざす NTT グループの環境エネルギービジョン「NTT Green Innovation toward 2040」の実現にむけ、さまざまな取り組みを進めております。

今回「地産地消型 PPA(群馬モデル)」の電力供給を受けることで、弊社が提供するデータセンターも温室効果ガス排出量ゼロの電力で運営されることとなり、弊社データセンターをご利用いただいているお客さまのカーボンニュートラル実現にも貢献いたします。

NTT 東日本 群馬支店は、自らがカーボンニュートラルを実現することに加え、「地域循環型社会の共創」というパーパスのもと、地域社会の皆さまのカーボンニュートラルに向けた取り組みも支援してまいります。

2. 地産地消型 PPA(群馬モデル)契約期間

2024年4月1日から2027年3月31日まで(3年間)

3. お客さまへの効果

以下のお客さまは、上記契約期間中は電力の使用に伴う温室効果ガス排出量を実質ゼロとみなしていただくことが可能です※2。

- (1)群馬第1データセンター、群馬第2データセンターをご利用されるお客さま
- (2)弊社群馬エリアビルに入居されるお客さま

4. NTT Green Innovation toward 2040 とは

NTT グループ全体で2040年度までのカーボンニュートラルをめざす環境エネルギービジョンで、「事業活動による環境負荷の削減」と「限界打破のイノベーション創出」を通じて環境負荷ゼロと経済成長を同時実現するものです。

2030年時点では、「NTT グループの温室効果ガス排出量 80%削減(2013年度比)」、「モバイル(NTT ドコモ)、データセンターのカーボンニュートラル」を目標としています。

- ※1 地産地消型 PPA(群馬モデル): 群馬県が運営する水力発電所由来の電気を、県内事業者へ供給する制度。
- ※2 群馬県内で使用する電力のうち、地産地消型 PPA(群馬モデル)による電力は約 9 割を占める見込みです。
- ※3 供給量に対し需要過多となり、供給量が不足した場合には、指定小売業者が別途調達した電力により補填されます。

<本件に関する報道機関からのお問い合わせ先>

NTT東日本 群馬支店 総務労務担当

Mail: koho-gunma-gm@east.ntt.co.jp

Tel: 027-326-0131

報道発表資料に記載している情報は、発表日時点のものです。

現時点では、発表日時点での情報と異なる場合がありますので、あらかじめご了承くださいとともに、ご注意をお願いいたします。